



Vol. 28
 発行
 郡上八幡国際友好協会
 事務局
 郡上市八幡地域振興事務所
 総務課内
 ☎0575-67-1811
 www.gifa.jp
 E-mail:office@gifa.jp

郡上八幡国際友好協会はもうすぐ20周年を迎えます。これまで支えて下さって本当にありがとうございます。外国人がまだ珍しかった時期に北米からの学生を迎え入れてから20年の時がたとうとしています。グローバル化の進みで私たちの活動も幅を広げていますが、地域に密着し、地域の活性化や発展、子供たちの教育に役立つ存在としてありたいと願っています。長きにわたって活動を続けてこられたのも皆様方のご支援やお力添えがあったからこそと感謝しています。20周年の記念事業も準備しています。どうか今後ともよろしくお願いたします。

— おつかれさまでした —

新春1月14日に開催されたスノボFISワールドカップGIFU/GUJO、昨年に続き総合受付ボランティアとして参加、協力しました。



多言語ガイド第2弾完成間近

「妊娠・出産・子育て・健診・介護」(英語・中国語・ポルトガル語版)を製作中です。

郡上市国際交流推進協議会では、市役所と協業し市内で生活する外国人のための多言語ガイド

インドネシア地域経済振興グループの受入

GWY(岐阜県世界青年友の会)からの依頼を受け、11月14日(金)にインドネシアの地方公務員にあたる、地域経済振興グループ17名を受け入れました。

当グループは訪問の目的を、「地域経済振興に力を入れている市の取り組みを見る事」としており、市職員による「郡上八幡のまちづくり」、「郡上おどりの保存と振興」の2つの講義を受けました。

また午後からは、講義の中で紹介した郡上八幡の町並みを実際に散策したり、郡上おどりを体験するなど、充実した1日を過ごし、駆け足で郡上の魅力にふれていきました。



アイルランド音楽の演奏会



10月26日(日)郡上八幡国際友好協会主催による、演奏者グループ:グレースノート「アイルランド音楽の演奏会」が、郡上八幡ふるさとまつりに合わせて開催されました。珍しいアイルランド楽器から流れる美しい音色に、会場内の観客はゆったりとしたひと時を過ごしました。

お久しぶりです

～2007年のサマースクール留学生からの便り～



フレドリック・リンド

日本に来た理由は理工学を勉強する事ですが、来てから色々な事を判るようになりました。その一つは日本語の難しさです。私は何れ日本語を使いこなせるようになりたいのですが、その日は未だ遠いです。しかし、その目標に達する為、尽くす甲斐が確かにあると思います。何故なら、日本語は日本の文化や日本人の心を理解する為の最も大切な鍵だと思います。ですから、今は日本語と理工学、両方勉強

しています。でも青春は勉強する事だけではありません。寮で友達と遊んだり、エレックギターを弾いたりするのも凄く好きです。そして日本をもっと旅行したいです。得にもう一度郡上八幡に戻って郡上踊りを楽しみたいです。今年は奨学金の事情があって、行けなかったが、来年は何としても行きます! 去年の岐阜での留学は矢張り東京とかなり違うんです。矛盾のさながら、私は岐阜の麗しい景色と穏やかな生活が凄く懐かしいと同時に、ストックホルムは出身ですので、そのような都会は田舎より私の心を和みます。満員電車とかは確かに大変ですが、東京の賑やかさと面白い人々は私にとってたまらなく程魅力的で何時かここで研究者としては是非勤めたいと思います。宜しくお願い致します。



ポントス アンデルソン

何かの縁の旅

名前はポントス・アンデルソンで、国は北欧のスウェーデンです。今回は日本に来てから、もう半年が経ちました。岐阜大学で日本語日本文化研修生(短く言えば、日研生)として勉強していて、秋学期の間ずっと日本語の能力を高めていました。春学期から普通の日本人学生との授業に移って、論文を書くことになりました。

現在、旅行の計画を立てているから、日本について色々考えるようになりました。自分はなぜ日本に興味があるかと聞かれるとよく「具体的に説明できない」と答えますが、縁があると言うことでここに来たわけでしょう。実は、2007年の岐阜大学サマースクールに参加して、岐阜県との結びつきが出来ました。それは何というかと、人との出会いで、それで再び来ることにしました。好きになった岐阜県で久しぶりに生活することが出来て、嬉しいです。

また来てから新しい出会いもありました。スウェーデンで始めた居合道のおかげで日本の武道の世界に入り込んで、参考になりました。実は、本日に稽古会に出かけて来ました。居合をしようと重い始めたのは、京都で刀を見て買った時でした。それも何か縁のあることだと思います。この道の先に何があるかはまだ分かりませんが、今度の旅行で九州へ行くつもりで、もっと日本についての知識を広げたいと思います。

何かの縁で私と会ったら、よろしくお願いたします。

法人会員一覧

(敬称略・順不同)

㈱大原林産	さつきの会 古池孝文	八幡病院
㈱木越組	㈱三栄コンサルタント	松田土木
㈱キング(相生モーターズ)	十六銀行㈱八幡支店	㈱丸芳組
㈱奥濃飛白山観光・ホテル 積翠園	庄村学習塾	㈱ミングループ
郡上合板㈱	新八幡木工㈱	ヤマガタヤ産業㈱
郡上板金企業組合	大目造園土木㈱	斎藤印刷
㈱古池タクシー	㈱高垣組	杉下医院
国際ソロブチミスト岐阜・郡上	東海精機㈱	ベイホックトラベル㈱
	八幡信用金庫	

会員募集中

郡上八幡国際友好協会では会員を募集しています。

年会費は 個人会員/ 3,000円
 法人会員/ 10,000円

年会費は、留学生の受入や学習会、料理を楽しむ会などの事業や広報活動の費用として大切に使われます。

お問い合わせ:郡上八幡国際友好協会事務局
 TEL 67-1811

ホームページも更新中!どうぞご覧ください。

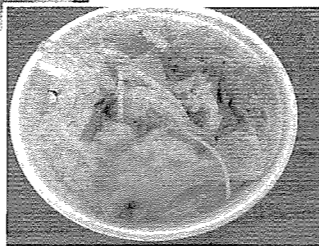
www.gifa.jp

世界の料理を楽しむ会

ベトナム料理

3月15日(日)八幡保健センターで世界の料理を楽しむ会を行いました。和良町在住の吉見イエンさんの指導のもとベトナム料理の「フォー」・「揚げ春巻」「エビとレモンガラスの炒め物」の3品を作りました。

大和町の企業で研修中の3名のベトナム青年も参加していただき、30余名の参加者は、満足度100%のベトナムの食文化にふれ楽しい時間を過ごしました。



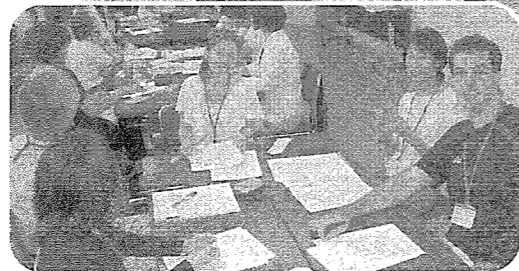
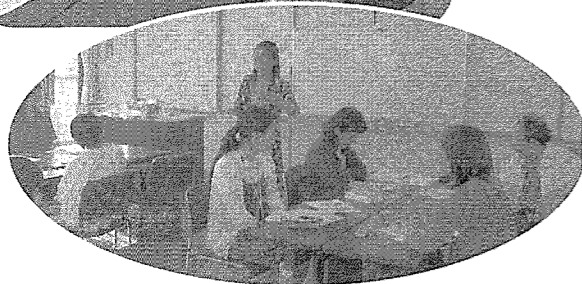
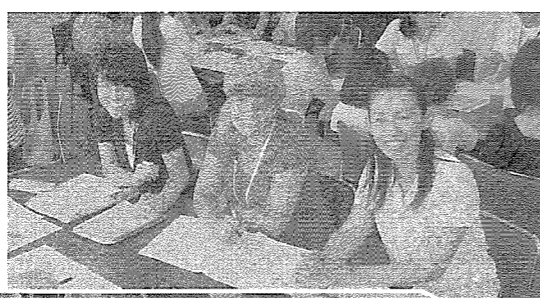
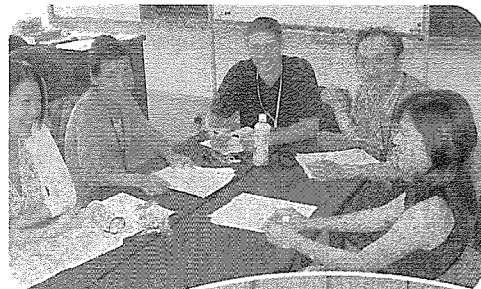
日本語支援ボランティア入門研修開催

県内には郡上市の人口を大きく上回る5万6千人もの外国人が住んでおり、年々増加・定住化の傾向にあります。郡上でも、海外からの配偶者(女性)や中国からの研修生が増えています。希望と不安を持ってやってきた若い人の前に立ちふさがるのは「言葉の壁」です。文化や習慣も違うのですから「言葉」が通じないと双方の意思疎通に大きな支障になり、時に誤解やトラブルの原因にもなりかねません。

しかし郡上には日本語教室などが無く、必要に迫られて個々に手探りで日本語を教えているボランティアの方のみだったのが現状でした。そこで岐阜県国際交流センターのご支援を頂き「外国人に日本語を教えるためにはどんなことに配慮して、どのように教えれば良いのか」などについて専門家である宮谷敦美先生(愛知県立大学外国語学部准教授)から3回コースで学びました。

市内各地域から26名ものボランティアの方にご参加いただき、郡上在住外国人の方にもご参加いただきコミュニケ

ーション演習も含め楽しい雰囲気の中で学ぶことができました。横の連携も可能になり、次年度からの日本語教室開催に向けて大きく踏み出せそうです。



モンゴルの中学生が来市、学校訪問などで交流

11月13日から17日までモンゴル各地の中学生が八幡に滞在しました。一行は、モンゴルで中学生対象に開催された日本に関するエッセイコンクールで特選になった5名で、日本国際協力センター(JICE)が招いたものです。我が国をより深く知ってもらうことと、日本の子供たちとの同世代交流を目的としています。東京、名古屋、郡上八幡の3か所が日本での研修先になりました。

八幡中学校、八幡小学校での同世代交流が行われるとともに、城山を中心としたトレッキング、郡上踊りの研修、遊童館での折り紙研修、サンプル作製体験、和菓子作りなどのプログラムが実施されました。

学校での交流では、学んでいる日本語で流暢に挨拶する生徒もあり皆驚いていました。二人の女生徒は民族衣装をまといそれぞれの出身部族に伝わる見事な舞踊を披露してくれました。お昼にはクラスルームで日本の学校給食を味わいました。それぞれのクラス合唱での歓待や郡上踊りの体験、球技での交流などと楽しく過ごし、その日は児童生徒宅でのホームステイをしました。双方が楽しく印象深いものになったようです。

またこの交流に際し、モンゴル大使館から郡上市の学校へ立派な馬頭琴が贈られたことをお伝えします。

